

1. 件名：福島第一原子力発電所における循環注水冷却・滞留水等に係る定例会
2. 日時：令和5年7月7日（金）10時45分～12時00分
3. 場所：原子力規制庁 2階大会議室

4. 出席者

原子力規制庁

原子力規制部 東京電力福島第一原子力発電所事故対策室

正岡企画調査官、松田室長補佐、佐藤室長補佐、佐藤上席特殊施設分析官、新井安全審査官、石井安全審査官、元嶋専門職、山下安全審査専門職、岩野係長、椎名係長、横山係長、植木技術参与

福島第一原子力規制事務所

松沢原子力運転検査官（テレビ会議システムによる出席）

東京電力ホールディングス株式会社 福島第一廃炉推進カンパニー

福島第一原子力発電所 担当8名（テレビ会議システムによる出席）

5. 要旨

- 東京電力ホールディングス株式会社（以下「東京電力」という。）から、資料に基づき定例の報告内容に加えて、以下の説明があった。
 - 溜まり水のあるトレンチ等の対応状況について
 - 1号機PCV水位低下に向けたS/C内包水サンプリング作業の実施について
- 原子力規制庁は、上記説明について事実関係を確認するとともに、以下のとおりコメントした。

(1号機PCV水位低下に向けたS/C内包水サンプリング作業の実施について)

 - 逆止弁弁蓋及び逆止弁上流側配管の2箇所穿孔時に火花は発生しないとしているが、水素及び酸素が内包されている可能性が高いことから、それを前提に火花発生防止だけではなくドリルによる温度上昇にも配慮するなど内包気体による危険性を十分に考慮したうえで穿孔作業を行うこと。
 - 内包の気体サンプリングの測定結果で水素濃度が高いなど、内包する気体について危険性が高いと判明した場合、逆止弁上流側配管の穿孔箇所より上流側となる配管内の気体パーシについて検討すること。
 - 内包気体や内包水のサンプリング作業については、その実施状況等を定期的に原子力規制庁へ報告すること。
- 東京電力から、上記コメントについて了解した旨回答があった。

6. その他

資料：

- 溜まり水のあるトレンチ等の対応状況について
- 福島第一原子力発電所のトレンチ内で発見された放射性物質を含む溜まり水の点検について（2022年度）
- 2022年度 トレンチ等内溜まり水点検結果一覧
- 1～4号機周辺の建屋に接続しているトレンチ等（平面図）

- 1号機 PCV 水位低下に向けた S/C 内包水サンプリング作業の実施について
- 汚染水対策スケジュール
- 水処理設備の運転状況, 運転計画 (2023年6月16日~2023年7月20日)
- 各エリア別タンク一覧
- 汚染水等構内溜まり水の状況 (2023.6.22時点)
- 建屋内における残水等の状況について
- 福島第一原子力発電所における固体廃棄物について (2023年7月7日)

以上